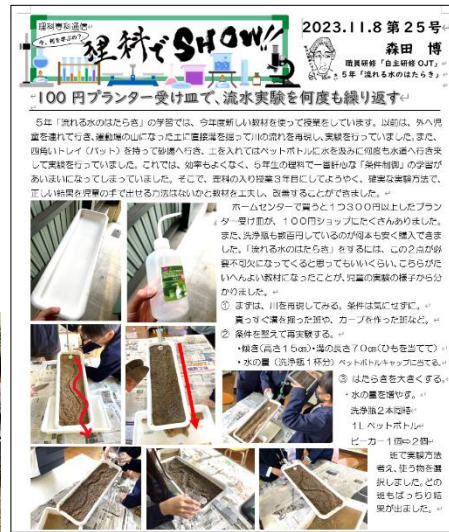




まずはやってみる!!そして条件を整え、再現実験!!

5年生「流れる水のはたらき」の学習もいよいよ大詰め。砂場で山を作るところから始めて、いざ水を流してみると…!?いろいろなはたらきが流れる水にはありそうだ!!よし、理科室に戻って、どの班も、同じ結果が得られるように、条件を整えて実験をしよう!ということで、昨年教材開発をしたプランター受け皿を使って今年も実験を進めています。①長浜市内の主な川の様子を調べました。



		長浜市の主な川		
		姉川	草野川	高時川
川の場所	上流			
	中流			
	下流			



②山を作りました。

「どんな山がいいの?」「徐々に下っていくような。」
上流 ⇨ 中流 ⇨ 下流 を意識した山づくりに。

③水が流れる溝を作りました。「どんな溝がいいの?」「自然の川。」「真っすぐな川はない。」を意識して。



④とにかく流してみる!条件は後回し!

⑤すぐに溝を直す男子。上手く流したい思い全開!!



指をさして、
いろいろな変化に
気付き始める。
体験が大事。事象と対話。
科学し始める時間に。



⑥実験方法を考える。教室で実験のイメージをつかむ。条件をどのように整える！？



- (1) プランター受け皿の高さを同じにする。(15cm)
- (2) 川の長さと同じにする。
 - ・ 同じ長さのひもで跡をつける。
 - ・ カーブを2つにする。
- (3) 水の量を同じにする。
 - ・ 洗淨瓶で水流を均等にする。
 - ・ ペットボトルキャップに水を当てる。



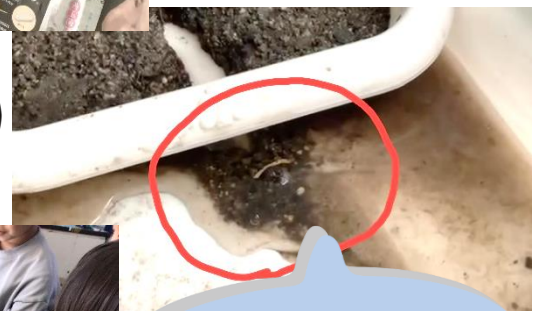
⑦実験 ⇨ 結果 ⇨ 考察



底が見えてきた。
けずれた！
これを、しん食
と言います。



石がコロコロ。
これを、
運搬と言います。



受け皿の穴から
出てきた砂利。
どんどんたまった！
これを、堆積と言います。

砂場の山も、理科室での再現
実験も同じ結果になったとい
うことで、流れる水のはたら
きは、この3つで決まり！